

【ねがいましては】

第92号

平成9年2月27日

共和珠算学習塾

「Sさんがんばって」

先日、ある初老の女性の方が当教室を訪ねていらっしゃいました。「Sさんです」

実は珠算を習いたいとのことでした。私は正直少々戸惑いを感じました。なぜならそのようなことは初めてだったからです。もう小学5年のお孫さんがいらっしゃるということで、今でも現役でお仕事をされているとのこと。一社会人として世の中に貢献されているわけで、清潔感の漂う純日本人を思わせる礼儀正しさに包まれていました。

頭脳明晰、明朗活発な振る舞いは全身から漂いを感じることができました。まだまだ働かせていただきますというエネルギーがみなぎっています。

久しぶりの珠算だということで、6級あたりからの出発になりました。なかなかお仕事が忙しく来られないとのことですが、合間を使っではご自宅ではじいていらっしゃるとのことでした。そして先だっの検定試験では4級を合格されました。

「私のようなものが教室にお邪魔したのでは、生徒さんにご迷惑がかかりませんか」と、教室へも遠慮深く入ってきます。常に身の回りに気を配り、控えめなお姿は、つくづく私自身が人生の先輩として敬いの念を強く抱くばかりでした。

人間、体の方は、そりゃ順番があるわけで、成長があり、やがてゆるやかに老いてゆくわけで、その時間の流れには逆らうことはできません。しかし、人は「心」に関しては「生」を全うするまで成長し続けていくものなのだなと勉強させていただきました。

まだまだ人生の勉強については未熟な私です。つついっちょっとのおだてにのぼせてみたり、鼻高々になってしまいがちです。

Sさんは、どのような人生を歩まれてこられたのか、きっと多くのご苦勞をされたのだろうと思います。そして「こころ」に多くの「みのり」を得、現在に至っているのだと思います。そんなお姿を見るたびに、いろいろと教えていただきたいな、いろいろなお話を伺いたいな、「ひと」の勉強をさせていただきたいな、という感情が自然に湧いてきます。それこそが人であることの魅力なのでしょう。

ありがとうございます。バリバリの1級目指して頑張られることを願っています。また、私の中に強くこれでいいんだと確信づけられるものを感じました。やはり「おもいやり」「やさしさ」そして「こつこつ」なんだな。この3つがにじみ出てくるような教室づくりを目指そう。

*やっとのことで教室にパソコンが届きました。主に珠算指導、暗算指導のソフトが充実しています。また、Windows95が入っているので、インターネット、電子メール、辞書管理、文書作成など、充実しています。これから少しずつ勉強していきます。また、そろばんソフトの面では低学年の暗算導入に力を発揮しますので、世界の中の暗算として、ますます重要視されることと思います。まだまだ検定試験重視の珠算界ですが、暗算を算数教育の土台として必要とされることは間違いありません。世界の暗算として今後は伸びてゆくと思われます。暗算力は人の脳の中でも使われにくい右脳を特に駆使します。よって脳全体の血流量促進に役立ちます。成長期の脳発達に良い影響を与えます。